

平成21年度 事業実績報告書

申請者の概要

申請者	団体名	高石商工会議所		
	代表者職・氏名	会頭 谷本 陽蔵		
	所在地	〒592-0014 高石市綾園2丁目6番10号		
	担当者	職・氏名	主事 山田 珠美	
		連絡先	電話番号(直通):	072-264-1888
Fax:			072-261-7676	
	E-mail:	tcci@gold.ocn.ne.jp		
設立年月日 職員数 (うち経営指導員数) 所管地域 管内事業所数 管内小規模事業者数 会員数(組織率)		昭和58年4月1日 13名(経営指導員5名) (平成21年9月30日現在) 高石市 2,025(平成18年事業所統計調査による) 1,629(平成18年事業所統計調査による) 1,101(60.6%)(平成21年9月30日現在)		
については直近の数字を記載のこと				
主な事業概要(定款記載事項等)				
(1) 商工会議所としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 (2) 行政庁等の諮問に応じて答申すること。 (3) 商工業に関する調査研究を行うこと。 (4) 商工業に関する情報及び資料の収集又は刊行を行うこと。 (5) 商品の品質又は数量、商工業者の事業の内容その他商工業に係る事項に関する証明、鑑定又は検査を行うこと。 (6) 輸出品の原産地証明を行うこと。 (7) 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。 (8) 商工業に関する講演会又は講習会を開催すること。 (9) 商工業に関する技術及び技能の普及又は検定を行うこと。 (10) 博覧会、見本市等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。 (11) 商事取引に関する仲介又はあっせんを行うこと。 (12) 商事取引の紛争に関するあっせん、調停又は仲裁を行うこと。 (13) 商工業に関して、相談に応じ、又は指導を行うこと。 (14) 商工業に関して、商工業者の信用調査を行うこと。 (15) 商工業に関して、観光事業の改善発達を図ること。 (16) 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。 (17) 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。 (18) 前各号に掲げるもののほか、本商工会議所の目的を達成するために必要な事業を行うこと。				

各種データ

高石商工会議所

経営指導員の相談

相談区分 業種別	巡回相談											相談対象企業数	
	経営革新	経営一般	IT	金融	税務	労務	取引	環境対策	法律	その他	計		うち 会員数
製造業	0	19	2	27	1	25	0	0	0	0	74	48	社 社
建設業	0	23	1	17	5	27	0	0	0	0	73	54	
小売業	0	78	4	46	8	11	0	0	0	0	147	90	
卸売業	0	5	1	1	1	6	0	0	0	0	14	8	
サービス業	0	50	11	59	10	37	0	0	0	2	169	108	
その他	0	5	0	2	2	0	0	0	0	0	9	7	
小計	0	180	19	152	27	106	0	0	0	2	486	315	
創業	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
合計	0	181	19	152	27	106	0	0	0	2	487	316	295

その他の内訳

〔特許出願〕

相談区分 業種別	窓口相談（通信、電話等によるものを含む）											相談対象企業数	
	経営革新	経営一般	IT	金融	税務	労務	取引	環境対策	法律	その他	計		うち 会員数
製造業	0	9	1	27	7	63	0	0	0	0	107	48	社 社
建設業	0	14	6	30	31	92	0	0	0	0	173	72	
小売業	0	15	2	25	41	22	2	0	0	0	107	62	
卸売業	0	4	0	3	11	17	0	0	0	0	35	18	
サービス業	0	29	7	54	53	95	1	0	0	1	240	112	
その他	0	4	1	4	7	2	0	0	0	0	18	14	
小計	0	75	17	143	150	291	3	0	0	1	680	326	
創業	0	1	0	5	1	0	0	0	0	0	7	4	
合計	0	76	17	148	151	291	3	0	0	1	687	330	298

その他の内訳

〔特許出願〕

注) その他・・・デザイン、技術、事業継承、後継者問題、M&A、BCP（事業継承計画）、CSR（企業の社会的責任）など

注) 会員であるか非会員であるかは、相談した時点で区別すること

高石商工会議所

(1) 事業の目標

本市域の事業所は、地域に密着した卸・小売業やサービス業、建設業、近隣地場産業の下請を始めとする製造業が多くを占めている。小規模事業者は、大規模小売店舗の進出や海外製品との競争、また製品単価の切り下げや原油材料の高騰等により厳しい経営環境にあり、まずは事業の存続を念頭において全力を傾けているのが実情である。一方、こうした状況下においても、新たな事業を創出しようとする前向きな企業も存在している。

20年度は、商業・サービス業において商店街等魅力向上促進事業を活用して、自社の有する優れた技術やサービス、また地域に存在する様々な資源を活用したマップ・冊子を作成して小規模事業者の支援を行った。21年度は、従来の業種に加え製造業も含めた優れた技術を持つ事業所も参加対象として地域に存在する様々な資源の情報発信を行う。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

小規模事業者の経営支援を図り、事業所が直面している問題・求めている指導等を把握するため以下のとおり事業を行った。地域振興・消費拡大を主旨として国から支給される定額給付金給付の機会を利用し、種々の販売促進を実施する事業所につき販促内容を本所HPに掲載し、事業所の経営活動を支援した。市内事業所だけでは件数が少ないため今まで行えなかった求人・求職マッチング事業について、大阪府・高石市・泉大津市・忠岡町・商工会議所・商工会・ハローワークと合同で実施する(11月19日)。小規模事業者が求める各種情報・人材育成ITセミナー・技術習得(簿記講習会)等の内容に即したセミナー・講演会を開催した。なかでも、急務となっている新型インフルエンザ対応計画の策定を支援するため「新型インフルエンザ対策特別講演会」を実施し、102名の参加があった。商店街活性化を図るため市民・各種団体・市行政・大学・商店街が中心となったイベントを開催し、地域における商店街の役割を果たす事業を実施した。

(3) 事業を実施した効果

定額給付金給付に対応した販売促進支援について、本所HPを見たとする来客は皆無に近い状況であったが、配付されたポスターに加えてPOP等を独自に作成して店頭に掲げ出すなど、事業所が工夫を凝らして周知を図った結果、販売促進活動を継続して行う必要性を理解していただき、一定の販促効果が得られた。地元で優秀な人材を確保するため、求人・求職マッチング事業に積極的に参加していただくよう事業所にチラシ・HPでPRし、巡回訪問の際にも雇用の受け皿となる事業所に参加を呼びかけており、2市1町における事業所も本事業の主旨を理解し、参加する方向を示す事業所が増加している。巡回指導の際、セミナー・講演会に関するアンケート調査を行い、本所と小規模事業者との意思疎通を図るためのツールとして役立つだけでなく、事業所が抱える課題や疑問を引き出すきっかけにもなった。商店街活性化事業の一つである高石楽市楽座「羽衣七夕まつり」が開催10周年を迎える今年度は、「古き良きあの頃」をテーマとして特別企画を実施したところ好評を得るなど、商店街の活性化が図られた。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

・未接触の事業所や新規開業者を含む市内各事業所を巡回指導しているが、商工会議所が行う事業・取り組み等を知らない事業者が多い。・長引く不況の中、事業所が優秀な人材を確保することが困難となっている。・各種セミナーについては、その実施内容について、受講者より宿題が投げかけられている。・地域活性化を図るため、参加型のイベントを実施し年々好評を得ているが、連続立体高架事業の進捗状況が本年11月末日より上り仮線運行予定につき、開催場所の確保が困難となっている。

(5) 来年度への取り組み

・案内チラシ配布やHP掲載等により商工会議所事業をさらに積極的にPRする。・人材育成支援の一環として、今年度復活した簿記講習会など事業者・従事者のニーズに即した講習会を実施する。・地域参加型のイベントの開催につき、地域の協力を得ながら使用する道路(歩行者天国)を変更するなどして開催場所を確保する。・その他、市行政・商工会議所・事業者の連携及び事業者間の交流・連携をより一層深め、危機的状況を乗り越える施策、自社の優れた技術・製品・サービス、また地域に存在する様々な資源を活用したマップ・冊子を作成し、小規模事業者の支援などを行う。

高石商工会議所

一般経営相談・情報提供事業

支援のポイント・成果

・施策のPR及び情報提供のため巡回訪問を行うことで、小規模事業者が抱える課題を把握することができた。巡回訪問という接触がなければ不明なままで終わってしまいかねない疑問や問題等を経営指導員が聴取し、ともに解決することにより、事業者の商工会議所への信頼感が増す。このような取り組みを継続的に行い、事業者の商工会議所への利用促進につなげたい。・6ヶ月目標数値について、窓口相談日数が達成できなかったが、相談件数は巡回・窓口とも目標を達成した。今後も事業所より連絡を受ければ訪問することを心がける。

	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
巡回相談	相談件数	900	487	54.1%	81.3	5
窓口相談	相談件数	1,200	687	57.3%	86.1	5

課題別経営相談支援事業

支援のポイント・成果

・金融支援は、所報等でのPRや巡回指導の重点目標として周知・啓蒙を行い、結果的に制度利用ができなかった事業者についても支援に努めた。・記帳指導は、経営指導員5名全員で支援を行い、98%の成果を得ている。・法務支援は、相談者がより利用しやすいものにするため、今年度より無料法律相談を毎月実施しているが、まだ定着しておらず相談回数が目標に到達していない。会議所報市内版により市内事業者及び住民により広く周知するよう努める。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
金融支援	継続	支援件数	50	24	48.0%	91.9	5
記帳支援	継続	支援件数	50	49	98.0%	93.8	5
法務支援	継続	支援件数	12	4	33.3%	67.0	4
税務支援	継続	支援件数	12	16	133.3%	94.7	5
労務支援	継続	支援件数	1	2	200.0%	95.7	5
その他(産業財産権)	継続	支援件数	12	2	16.7%	71.8	4

専門人材等連携促進事業

支援のポイント・成果

ITセミナーは、表や計算式を使った資料作成や様々な文書の作成、デジカメで撮影した画像の編集や印刷など、小規模事業者が事業経営を行う上で役立つ実践的なテーマで構成した。受講者募集の際、ほとんどのコースでキャンセル待ちが出ており、地域におけるIT学習の場として定着しつつある。今後も事業者・従業員を中心とするパソコン初級～中級者を支援する。一方、新規事業である簿記講習会は、初心者者の簿記知識習得を目的としている。実施回数全13回で内容が充実しており、試験対策として良いタイミングで開催されることなどから受講希望者が多く、定員をわずかに超えて申込者全員を受け入れた。

重点事業	事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
	IT人材育成	継続	参加者数	100	78	78.0%	81.0	5
	簿記講習会	新規	参加者数	20	24	120.0%		5

地域活性化事業

支援のポイント・成果

(地域ブランド戦略策定事業)10月より参加事業所を募集、11月中に事業所のPR内容等の審査にはじまり、冊子等の印刷まで一連の作成手順を終え、12月上旬の消費拡大が見込める時期に参加事業所あるいは駅、銀行、商業集積他の集客施設あて配布する予定である。(その他)急務となっている新型インフルエンザ対応計画の策定を支援するため「新型インフルエンザ対策特別講演会」を実施し、102名の参加があった。

重点事業	事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
	地域ブランド戦略策定事業	新規	参加事業所数	50				
	商店街活性化事業	継続	開催回数	2	1	50.0%	78.4	4
	地域活性化事業	継続	開催回数	1				
	その他	継続	開催回数	5	1	20.0%	73.0	4

高石商工会議所

事業名	地域ブランド戦略策定事業				
新規/継続	継続				
想定している実施期間	20 年 (開始) ~ 未定 年 (終了)		今年度 2 年目		
実施期間全体を通じて予定している事業計画	すべての業種を対象に、高石市内における逸品（卓越した技能・技術・商品・サービス等）を募集する。マップ・冊子・ホームページで広くPRすることにより、本所会員・非会員を問わず各事業所の意識改革と活性化を支援し、市内商業全体の活性化を目指す。				
継続事業の場合	これまでの実施状況と効果・成果	平成20年度商店街等魅力向上促進事業を活用し、計46事業所の参加協力を得て一店逸品事業を実施した。近隣への超大型商業施設の出店により売上高・来店客数等に影響を受けている商店街・市場等を含む商業活性化対策として、一店逸品事業の参加店を募集、市内全域に一覧チラシを配布し、集客施設に冊子を配架した。参加店に対して反響も良く活性化策としての成果があった。今年度は、年末に一覧チラシ・冊子が完成する予定。			
本事業の対象となる地域の現状や課題	市内商業は、経営者の高齢化や景気減速による経営体力の低下により衰退する一方であるが、さらに近隣に超大型商業施設が開店し、市内商店街並びに商業者は大きな影響を受けている。そのような環境の中、個々の店舗が一店逸品ツールにより存在価値を高め、消費者の認識を高めるところとなっている。本所非会員事業所の参加は残念ながら得られなかったが、商業者相互に共通の目的意識を持ち、市内全体の商業活性化を図ることが必要である。				
目標に対する実績	指標	参加事業所数			
	目標数値	50	実績数値	0	達成率 0.0%
目標	高石市内の事業所全業種（製造業・建設業・商業・サービス業・飲食業等）を対象とする。市内には逸品を扱う事業所がなお潜在しており、参加店を募集し本年度目標を50事業所として一店逸品事業への理解・協力を求める。				
事業を実施した具体的な内容・方法・時期	10月より参加事業所を募集、11月中旬に事業所のPR内容等の審査にはじまり、冊子等の印刷まで一連の作成手順を終え、12月上旬の消費拡大が見込める時期に参加事業所あるいは駅、銀行、商業集積他の集客施設あて配布する予定である。				
マスコミ等に取上げられた回数	0回				
PR方法とその影響	PR時期は平成21年12月の予定。参加事業所の推薦理由とこだわり商品・サービスを個別に紹介するマップ付冊子を商工会議所・参加事業所を始め、市内の駅、金融機関、大型店等に配架する。ダイジェスト版のマップチラシは、新聞折込みにより市内全域に配布する。一店逸品参加事業所であることが一目見てわかるよう、各事業所には目印となるステッカーを掲示する。				
利用者満足度（点）	事業評価				
実施した効果	9月に第1回委員会を開催し、参加事業所業種・件数・PR時期等今年度の事業実施方針を決定した。今後の予定として、11月に第2回委員会を開催し、参加事業所の審査及びレイアウトを中心に審議、12月にチラシ配布を行う。				
実施した結果浮かび上がった課題および次期以降への取り組み	今年度は10月より本所HP・所報記事・所報折込チラシにより参加事業所を広く募集する。日頃本所との関わりが少ない非会員事業所の参加申込が少ないようであれば所報市内版（各紙折込み）で広報するなど、来年度以降募集方法を改良することも検討する。				
事業全体の収支状況	収入（予定）	支出（実績）			
	参加料（50件）	500,000	活動費	70,000	
	府補助金	983,025	事務費	5,078	
計	1,483,025円計			75,078円	